

議会だより

58

のとちょう

2019.11.1

9月定例会議	2-3
一般質問	4-12
議案をチェック	13
常任委員会レポート	14
決算特別委員会報告	15
まちかどインタビュー	
編集後記	16



『まさか』
みんな
で参加

豪雨災害復旧費などを補正

一般会計予算総額は184億427万5千円に！



防護柵を設置



令和元年第5回能登町議会9月定例会議が9月2日から13日にかけて開催され、議案35件、認定10件が提出された。議案は、一般会計・特別会計及び企業会計の補正予算のほか条例改正や町有財産の無償譲渡など、また平成30年度における10会計の歳入歳出決算認定であり、各常任委員会及び決算特別委員会により審査し、全議案を可決及び認定とした。

最終日に議会提出議案として2件の意見書を提出しそれぞれ可決とした。

11日には9人の議員が町政全般について一般質問を行った。

おもな補正予算

- **総務費 2201万6千円**
 小木高浜地区の法面保護工事区域の拡大
 有線放送文字放送システム改修
- **民生費 1167万1千円**
 老人憩いの家九十九荘の修繕
- **衛生費 97万6千円**
 新庁舎に設置予定の体組成計機器購入
 ※体組成計機器とは体脂肪・基礎代謝量・
 筋肉量など、体の組成に関する諸数値
 を測る装置の総称
- **農林水産業費 4478万円**
 豚コレラの侵入を防止するための支援補助金
 6月豪雨による農業用施設及び林道修繕費
 大和堆漁場イカ釣り漁における陳情旅費等を補助
- **商工費 1633万1千円**
 海洋深層水施設の食品脱水機の入替え
 のと九十九湾観光交流センターの冷凍冷
 蔵ショーケースなどの備品購入
- **土木費 2億9879万5千円**
 大規模盛土造成地の調査
 危険ブロック塀等撤去にかかる補助金
- **消防費 31万6千円**
 全国消防救助技術大会出場旅費にかかる
 負担金の追加
- **教育費 1772万5千円**
 三波公民館建て替えによる仮設三波公民
 館（旧三波小学校）設置費
 旧白丸小学校解体工事におけるアスベ
 スト除去費用
- **災害復旧費 5789万1千円**
 6月に発生した梅雨前線豪雨による災害
 復旧費

9月定例会議
2日～13日

豚コレラ対策支援

一般会計4億7050万1千円を補正し、令和元年度



がけ崩れが発生（当目地内）



農地が崩落（合鹿地内）

その他のおもな議案

譲渡物件を障害福祉サービス事業の用途に供することを条件として無償譲渡

○町有財産（建物）の無償譲渡について

『うしつ障害者支援センター』を『社会福祉法人おおとり会』に無償譲渡

『みずほ障害者支援センター』を『社会福祉法人礎会』に無償譲渡

『こども発達支援センター』を『社会福祉法人仏子園』に無償譲渡

議会提出議案

能登町議会として2件の意見書を関係大臣へ提出

○新たな過疎対策法の制定に関する意見書

趣旨概要：現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

○高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

趣旨概要：高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、安全運転サポート車」や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及、免許を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド（予約）型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」のさらなる充実を図ること。

いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

9月定例会議の一般質問（11日）

問 さらなる投票率の向上を

答 投票率を上げる取り組みをする



柳田庁舎に設置された啓発看板

問 その他質問
 広域連携を積極的に取り組め
 今後の少子高齢化の流れは、本町も同じ。行政サービスの効果を考えると、広域連携を念頭に、事業を図っていくべき時である。
 事業により、連携もなされているが、本来は、首長のリードで進めるべ

答 町長
 きと考えるが、その行動があまり見えない。
 答 町長
 案件があれば、取り組み
 今現在は具体的な案件がない。広域連携が必要と考えられる案件があれば、精査して取り組みたい。



田端 雄市 議員

問
 投票率は、民主主義社会の成熟度の目安であり、生活者である町民に、政治・行政が信頼されているかが、問われるバロメ

答 町長
 投票率に関する私の考えは控えるが、国民主権であり、国民の意思に基づき行使する意味から権利を放棄せず、投票してもらいたい。今後はしっかりと投票率を上げる取り組みをする。

ーターである。町の施策が町民に周知・理解されることが投票率の向上につながる。この認識で取り組みべき。

問 消費増税額の活用を明示せよ

答 使途を明確にし、公表を図る

問
 消費税増税額は、国の施策と合わせ、社会保障に活用すべき。また、町民の負担と関心度の高さから年度当初の予算の公表には、増税額と使途の事業を明示すべきだ。

答 町長
 消費税法により社会保障施策に充当すべきと規定。町では、個別の施策に充当せず、広く社会保障経費に充当する。



吉田 義法 議員

問 町有施設にエアコン設置を

答 利用頻度を考慮し設置する

問 近年の異常気象により夏の暑さは脅威である。町有施設において利用者に不便がないよう、また、管理者側においては業務に支障がないよう、エアコンを設置する必要があると考える。教育委員会関係の町有施設エアコン設置状況、並びに未設置施設の今後の設置計画について説明を。施設の利用目的や利用頻度によりエアコンを設置する必要があると考える。特に、修繕が必要な施設においては早急な対応が必要だと考えるが、町の見解は。

答 町長 学校施設は小中学校全ての普通教室にエアコンの設置が完了している。社会教育施設については、全公民館の事務所及び会議室等に設置されており、文化施設においては、ドブネ収蔵庫と郷土館以外は設置済みである。体育施設の管理事務所には設置されているが、アリーナ部は未設置である。今後は、学校施設の特別教室118教室中39教室が設置済であるが、使用頻度の高い図書室やラウンジルームを優先的に先行、その後、理科室や音楽室など整備できればと考えている。修繕が必要な施設においては限られた予算の中で早急に対応し、できない場合は、次年度以降に予算を確保し対応したい。

問 内浦総合運動公園の設置目的や位置づけをどのように考えているのか。公園内の内浦体育館周辺の道路が、毎年数回水没していることを把握しているのか。内浦総合運動公園は多くのスポーツ施設が整備されており、町のスポーツ拠点である。町内外の方を対象とした様々なイベントが開催される場所であるため、排水路の分散や、体育館と駐車場の間の土地をかさ上げするなどの具体的対策が必要だと考えるが、町の見解は。



豪雨により水没する内浦体育館周辺

答 町長 内浦総合運動公園は地域住民の体力向上、健康増進を図る場として設置されており、奥能登でも有数の総合的スポーツ施設として、能登町民や町外の方々が集う施設として、位置づけられていると考えている。運動公園内の道路が水没していることは承知している。今年も6月下旬の大雨により水没した際、ミニバスケットボール大

会が開催されており、利用者は不便な思いをされたと聞いている。公園外の農業用排水や道路排水が公園内の水路を通して海に排出される構造となっており、潮位の影響を受け滞留により構内水路があふれると考えている。まずは、公園内道路や水路の高低、排水機能等を調査し有効対策を練り対応する。

問 内浦総合運動公園内の排水改善を

答 調査し有効対策を練り対応する



宮田 勝三 議員

問 放課後児童クラブを学校に併設を

答 学校側と協議、検討していく



小学校に併設された大屋児童クラブ（輪島市）

問 町内の学校3校、輪島市の2校と、学校と隣り合わせの児童クラブを視察し、学校長の話をお聞きした。「私達も心配がある。それは、風の強いとき、雨のひどいとき、

答 町長 小学校に併設を希望するニーズが大きいうであれば、学校側と協議し、検討したいと思っておりますが、議員のご提案も将来的には必要な形として考えているのでご理解いただきたい。

風雪、あつてはならないが、変質者のこと、交通事故等。」
私の危惧することと同じであった。ゆえに、学校に併設（学校内に併設、学校の隣接に設ける）すべきと考えるが。

問 水産物加工処理施設の指定管理を継続すべきと考える

答 管理の継続性も必要と考えている

問

奥能登食材流通機構が鮮度保持施設の80〜90%の利用をされている。また、利用にあたっては、町内外の、魚種、漁獲量等の調査をはじめ、販路の調査、研究に努力が見られる。魚価の低迷を何とかしなければということ、値崩れしないような価格での仕入れをする等、魚価の底上げに一役を担っていることを考慮し、指定管理の継続をすべきと考える。

答 町長

漁業者所得の向上を基軸に置いた運営を実践しており、この2年半の管理実績は高く評価できるものと考えている。今後

もこの施設が能登町の漁業者にとって有益であるためには管理の継続性を考慮することも必要と考えている。

問 その他質問

能都内浦線 整備促進に努力を

市町村合併以前まで事業が継続されていたが、その後未着工である。その原因に、漁港や私有地の問題と聞くが、町として汗をかくことも必要ではないか。

答 町長

危険個所の解消に向けて調整に努める
改良工事を行ううえで、地元地権者や、関係各位のご協力を得られるよう、



町としても、今後危険な箇所の解消に向けて、整備に努めていきたいと考えている。



馬場 等 議員



地域の方と中学生が協力し行われた防災訓練

問 指定避難所一覧表の見直しを望む

答 本年度見直しを図っている

問

現在、町の指定避難所一覧表においては、災害の種別によってその避難所が利用できるかどうか判断できないが、改善すべきではないですか。

答 町長

指定避難所の施設に関するデータにつきましては、平成23年指定時のものです。本年度、他の避難施設も含めて見直しを図っていると承知です。

問 小中学校の体育館にテレビ等を

答 テレビの設置は必要と考える

問

小中学校の体育館は、学校の施設であるとともに、各種災害時の指定避難所としても大事な機能があります。災害の情報がわかるようにテレビ等を設置してほしい。

答 町長

今回の避難所での意見を踏まえて、避難者のための情報収集、提供の手段の1つとしてテレビの設置は必要と考えます。設置場所や保管場所、テレビ本体の購入等について検討していきたいと思っています。

問 その他質問

町の観光施設等を緊急避難場所に

夜間に津波注意報が発令された場合、高台にあり、常に人がいて対応できる施設である、町の観光施設や体験交流施設は、緊急避難場所としてふさわしいと思いますが、指定できないでしょうか。

答 町長

多くの検討課題があり難しい

これらの施設につきましては、避難者の受け入れの内容やその規模、一般利用者や従業員の対応など、多くの検討課題があります。公共施設の指定だけでは十分な緊急避難場所を確保することが困難な場合は、民間施設などの指定が効果的となることも考えられますので、今後検討させていただきます。



市濱 等 議員

問 ドローンの利活用今後の方針を聞く

答 民間の知識、技術、安全面を活かす



多方面で活躍するドローン

問 ドローンは利活用の可能性に着目されて、無限の広がりを見せている。映像撮影、データ収集、物流など多種多様で、上空から確認でき、高い所、人が近づきにくい所では、作業員の安全にもつながる。航空法も改正されて

答 町長 民間の技能資格がある事業者に委託して、町の観光プロモーション動画にドローンを活用、観光情報の発信を予定している。町購入については維持管理、整備点検、安全基準全ての知識や技術が求められるので、職員の運用は現実的に難しい。しかし町で導入すればよいのか、今後県や他の町の動向にも注視していきたい。

利活用しやすい環境が整った。町はどのような体制で利活用を検討しているのか聞く。

問

今後の整備計画、重点施策を聞きたい

答

有線の光ケーブル化、新焼却施設など

問

第二次総合計画がスタートし、大きな建設工事が完成を迎える。今後の施策の重点を聞きたい。施設の縮小計画も発表されているが、何年度までにどれだけ縮小するのか。また、当町は人口減少、流出が止まらない、働く場所が欲しいとの声が多く聞こえる。能登空港近辺に工業団地を計画できないか、東海方面の企業誘致は道が開けている。条件を良くし企業にアピールできないか伺いたい。

答 町長

有線の光ケーブル化、新焼却施設等の計画がある。第二次総合計画7つの大綱に基づき活力のあるまちづくりを目指す。公共施設等総合管理計画で、令和8年度までに現在の20万4,119㎡を20%削減する。水などの問題で工業団地造成は考えていない。水産加工等一次産業の誘致に力を入れる。観光者向けにホテル事業者に対してPRしたい。立地意向調査実施をふまえ、県人会、金沢能登町会などにPRする。

問 ⑥ その他質問

漁業者の現状は。補償関係を整えるべき

漁業環境が悪化の一途だ。町は沿岸漁業の現状、遠洋中型イカ釣り船の現状、万が一に備えた補償関係を整えるべきだ。海水温の状況、イカの分布状況等があまりにも公開しすぎる。狩猟は秘しているものと認識しているが、対応が必要だ。漁業の体質改善が必要だ。高校生のスマート集魚灯等研究開発が必要と思うが。

答 町長

安心して操業できる環境づくりに取り組む。定置網は水揚げが低調だ。しかし小型イカ釣り漁は例年をやや上回っている。中型イカ釣り船に関しては過去最低のペースだ。海水温の上昇や外国船による違法な乱獲が影響していると考えられる。補償については不漁における漁業共済掛金の助成、ミサイル被害・海賊行為における保険掛金等への助成、漁船や機械取得に対する利子補給等きめ細かく助成している。町、議会、漁業者が一体となり安心して操業できる環境を整えたい。



志幸 松栄 議員

問 新庁舎への移転・現庁舎の跡地利用は

答 万全の態勢で移転・基本方針に沿った 利活用

〔問〕

今年度中の新庁舎への移転準備態勢は。また、現庁舎の跡地についての利活用の考えを伺いたい。

模な移転作業であり、万全の態勢で臨みたい。また、現庁舎の跡地利活
用については、跡地利活

用検討委員会を設立し、本年3月に答申書をいた
だき、「迅速に除却手続
を進めること」、そし
て、利活用の基本方針と
しては、「人々が集い交
流できる場所、安心して
憩える場所、さらに町の
振興に資する場所である
こと」とし、委員会の基
本方針に沿った利活用策
を進めていきたい。

〔答〕 町長

新庁舎は建物部分が現
在完成し、備品等の搬入
や外構工事等を年内に完
成させ、年明け早々に開
庁を目指している。大規



町民の方々の利便性を重視した新統合庁舎窓口

問 海洋プラスチックごみの抑制は

答 3R活動の推進や漁協との連携強化

〔問〕

近年世界的問題の海洋
プラスチックごみに対す
る町としての取り組み状
況は。

〔答〕 町長

当町では3R活動を推
進しており、3Rとはリ
デュース・ごみを減らす、
リユース・再利用する、
リサイクル・再資源化す
る、この3つの頭文字の
総評であり、不法投棄を
減らすため監視員による
パトロール、また、防止
看板の設置等している。

さらに、毎年、漁業関
係者をはじめとした多く
の方の参加で、クリーン
ビーチ活動や町内会等の
清掃活動で集めた漂着ご
みの回収対応も行ってお
り、今後も各関係機関と
の連携の強化を図り、ご
みの抑制に向けて努力し
ていきたい。

問 のとキリシマツツジ利活用具体策は

答 各種取り組みによるにぎわいの創出に努める



堂前 利昭 議員



イギリスへ訪問した能登町視察団

問 英国現地視察を終えて、さらなる、のとキリシマツツジの知名度、そして能登町のすべて知名度を上げなければなりません。よって、町長が今思われているどんな小さな事で

答 町長 今後、石川県と奥能登2市2町と、その他関係団体での各種取り組みや支援を継続するとともに、さらなる奥能登への誘客を図り、のとキリシマツツジを生かしたにぎわい創出に努めてまいりたいというふうに思っております。

もいいので、のとキリシマツツジの今後の利活用についての具体策を熟く語って頂きたい。
能登町のトップセールスマンとしての夢を語って頂きたいと思えます。

答 町長 公衆トイレの洋式化やサイン表示など、来町された訪日外国人に対する配慮がまだ足りないと感じています。そこで、公衆トイレの洋式化を始め、トイレ表示やトイレの適切な使用方法を理解して

問 私が質問したいことは、外国人が当町を観光で訪町することについて、聞きたいのであります。日本人及び外国人にも、わかりやすいトイレ看板表示にするためにも、県の表示に準ずる看板にしてはどうでしょうか？
近い将来、公社や民間の宿泊施設、個人店舗にも三方国語の表示は、大事になってくるのではないのでしょうか。

答 イングリッシュ・ガーデン及び日本庭園の実現に向けて、7月、議会の派遣報告にも言われた宮田議員の夢の構想でもある、英国のロスチャイルド家との交流を機会に、能登町にイングリッシュ・ガーデンを造ることに、宮田議員の構想を夢で終わらせずに少しずつ実現することは、のとキリシ

問 その他質問
もうのように、イラスト中心の多言語化された啓発ステッカーを順次製作していきたいと考えております。ステッカーは、トイレだけでなく、町内の宿泊施設や店舗にも配布いたしまして、外国人観光客にご理解いただけるように、取り組んでいきたいと思っております。



答 町長 協議を進めていきたい宮田議員が訪問中に見た夢を語られたのは英国の地に、のとキリシマツツジが植栽されるのを機に、英国のロスチャイルド家のエクスペリエンス・ガーデンには日本庭園を造り、能登町にはイングリッシュ・ガーデンができたというものでした。行政としてどこまでできるのか、NPOの皆さんとどんな形で連携していきけるのかなど、今後、関係課を通じまして協議を進めていきたいと考えております。NPOの皆さんのご努力によって実を結んだロスチャイルド家とのつながりは、町としても大事なものであり、その関係がさらに発展していくことを願っています。

問 インバウンドによる当町の対応は

答 外国人観光客に対して配慮する



鍛冶谷 真一 議員

**問 特急バス
県立中央病院への立ち寄りを要望せよ**

答 バス事業者に強く働きかけたい

問 昨年、新装された石川県立中央病院へ行く場合、自家用車やタクシーで行ける人はよいが、病气や年齢によって特急バスで行くしかない人も多いと聞く。現在の県庁前バス停で降りて徒歩で行くと、思いのほか遠く、大変負担がかかる。ましてや、

答 帰りには、あの広い県庁前の道路を横断して渡らなければならぬ。そこで、現在運航している特急バスが金沢医科大学の玄関前に立ち寄っているように、県立中央病院前のバス停に立ち寄る路線に変更するよう、要望活動を提案する。



新しくなった石川県立中央病院

答 町長

病院の新装、移設で県庁前バス停の距離がおよそ200メートル延びた。町としては、住民の方の利便性向上と利用者負担の軽減を図るうえで、バス事業者に強く働きかけていきたいと考えている。

問 新庁舎完成に伴う備品は

答 再利用を調査し新規購入、棄却を実行

問 新庁舎の完成に伴う事務機器等の整備について令和元年度当初予算では1億4,000万円強が計上されていたが、①どれほどの金額になるのか。
②不用となる事務機器等の競売はあるのか。
③購入は消費税増額の前か後か。

答 町長
①当初予算には、統合庁舎のステージ綴帳や支所及び公民館の備品も含まれている。それを差し引いた1億2,653万円が現段階の予算である。
②できるだけ再利用すべく調査したうえで、新規購入、棄却処分するものを決定。使用機会のなくなる備品については町民を対象としたオークション等で処分したいと思っている。
③消費税増税前に納品できよう発注済みである。



向峠 茂人 議員

問 宇出津総合病院職員の意識改革を

答 公務員であるということを自覚してもらう

問

看護師という仕事を、どう認識しているか。また、宇出津総合病院に対して、今後、意識改革するとすれば、どのような方法か、考えを伺いたい。

答 町長

看護師だけではなく病院職員全体に言えること、一人一人の患者と向き合い、求められていることを想像し、一歩先を行く対応ができるか。さらに、相手の気持ちに寄り添い、傾聴し、理解して行動することが業務に大変重要である。特に、看護師は、患者に一番近い存在だと認識している。宇出津総合病院の基本理

念は「笑顔で心のこもった医療サービスの提供」ということで、それを基に3つの指針である「地域住民の人々に信頼される病院を目指します」「よりよい接遇と思いやりのある病院を目指します」「質の高い医療を提供できる病院を目指します」を念頭に日々業務を行っている。

なお、宇出津総合病院では職員向けの接遇研修を年一回開催して、石川県や石川県看護協会にも職員を多数参加させており、主なものは、臨床倫理研修、これは、事例検討を通して医療現場で大切なこと、看護に対する新たな意識づけを学んでいる。また、公立病院ですと、看護師の前に公務員であることを自覚してもらうため、新人職員に対して、勤務初日から、地方公務員法第30条「すべての職員は、全体の奉仕者として公共の利益のため勤務し、且つ、職務の遂行にあたっては、全

力を挙げてこれに専念しなければならぬ」と説明している。

今後も一人一人の職員が公務員であることを再認識するため、服務や接

遇等の研修会を積極的に参加させたい。

問 服務・接遇リーダー制の是非と効果

答 服務規程の順守、接客接遇の指導を徹底する

問

今年4月から、服務・接遇リーダーが設けられた。その効果が表れたか否か伺いたい。

答 町長

当町では、第二次能登町人材育成基本方針の通り、目指すべき職員像を定め、住民福祉の向上のため、日々研鑽に努め、今年度はさらに研修の機会をふやし、新たに発令した服務・接遇リーダーについても、5月にCS接遇・リーダー研修を実施し、CSというのは顧客満足、住民満足のこと、全ての職員がサービスを提供する担い手として町民に満足を提供する。

町民との対応において、まだまだ未熟な職員もいるのが、服務・接遇リーダーを中心に改善を図っているところである。あわせて、人事評価の見直しを今年度行い、これまでの業績評価と能力評価に加え、積極性・責任感・規律性・協調性などの態度評価を新たに加え、第一次評価者が評価するの

にあたり、服務・接遇リーダーの意見を求め、職員の接遇に対する意識向上も同時に図っている。今後も、服務・接遇リーダーを中心に、服務規程の順守や接客、接遇の指導を徹底して、よりよい住民サービスを提供できる職員の育成に取り組んでいく。



各課に配属された服務・接遇リーダーの研修風景



議案をチェック

9月定例会議の議案質疑

田端雄市 議員
危険ブロック塀等撤去事業について

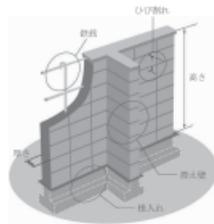
土木費の住宅費の説明で、危険ブロック塀等撤去事業というのが新設されたという報告があった。この事業については、その概略の説明と、新設であるので、どのように周知を図るのか説明せよ。
具体的な説明を。

建設課長

この制度は、平成30年大阪府北部地震によるブロック塀の倒壊による事故を受け、危険ブロック塀等撤去事業を新しく設けられた。ブロック塀の点検ということ、まず塀に傾きがないか、ひび割れがないか、高さ2m20cm以下か、あるいは、厚さについては10cm以上かというところを点検し、危険なブロック塀については、2分の1の補助、補助限度額10万円の事業を創設するものである。周知については、まずチラシ、それから広報等に掲載していきたいと思っている。
馬場 等 議員
危険ブロック塀等撤去事業の対象は、通学路だけでなく、民間の家のブロック塀も含むのか。

建設課長
通学路であるところの点検等は教育委員会、道路管理者等を含め点検している。今回の事業については、民間のブロック塀、道路にまみず面するブロック塀の撤去を優先したい。

まずはブロック塀等の点検をしてください



- (ブロック塀の点検ポイント)
1. 塀の高さは2.2m以下か？
 2. 塀の厚さは10cm以上か？
 3. 控え壁があるか？ (高さ1.2m超の場合)
・ 壁の長さ3.4m以下ごとに高さの1/5以上突出したもの
 4. コンクリートの基礎があるか？
 5. 塀に傾き、ひび割れはないか？
・ 塀に鉄筋が入っているか？
・ 直径 9mm 以上の鉄筋を縦横とも 80 cm間隔以下配筋
・ 基礎の根入れは30cm以上か？
- 参考

市濱 等 議員
大規模盛土造成調査業務について

どのようなところにそういう箇所があるのか。どんな調査をされるのか説明を。
建設課長
この補正予算については、

平成30年北海道胆振東部地震で被災したところを踏まえて、国土強靱化施策により大規模盛土の造成地の調査をする経費を追加。この調査については大規模な盛り土地区がないか、まずスクリーニングをするという調査を追加した。能登町においても、数か所のところではない箇所があるのではないかと事前に国に報告している。

市濱 等 議員
漁業振興対策費について

大和堆の漁場保全対策事業50万はどういう保全対策なのか。要望活動だとすれば、町の職員も同行するのか。設備に対しての要望なのか、海区等権利に対しての要望なのか説明せよ。
農林水産課長
県漁協の組合員や職員が、中央省庁などへの陳情等を行う際の旅費2分の1を補助するというもの。町の職員の同行は想定されていない。そして、外国漁船の違法操業やスルメイカの資源減少に苦しむ中型イカ釣り船団に対して、昨年に引き続き支援を行うものである。県漁協から聞いている内容については、大和堆の漁場保全に向けて関係機関への働きかけと、北太平洋におけるアカイカ漁への転換調査等を要望すると聞いている。

市濱 等 議員
町有財産(建物)の無償譲渡について

建物は無償で譲渡とあるが、土地については賃借とある。間違いないか、なぜ賃借なのか伺いたい。
健康福祉課長
土地の売買というのも考えているが、うしつ障害者支援センターがあるところは、老人憩いの家たなぎ荘からユースの先まで大きな一筆となつているので、分筆には莫大なお金がかかる。他の2者は売買可能であるが、1者だけ無償で賃借というわけにはいかないの、3者とも無償で賃借したいと考えている。
向峠茂人 議員
公共土木施設災害復旧工事について

建設課長

災害の復旧工事の箇所は、どこに何件あるか説明せよ。
河川2件、道路2件です。河川については、中斉地内と黒川地内、道路については上町地内と当目地内の災害で、今週現地を査定を受けるものである。
農林水産課長
農業関係の災害復旧費としては農地災害復旧費として件数は9件、北河内、上町などの法面崩壊その他で旧事業として件数は14件。代表的な場所としては、久田や鶴町などである。林道災害復旧費として件数は1件で、北河内地内の修繕等である。

7月から9月の主な議会活動

7月9日	議会運営委員会・議員全員協議会・第4回能登町議会7月議会
7月9日	広報編集特別委員会
7月9日	町区長会連合会と町議会の懇談会
7月22日	広報編集特別委員会
8月1日	議会運営委員会
8月2日	石川県戦没者慰霊式
8月2日	(いしかわ総合スポーツセンター)
8月5日	岡山県矢掛町議会行政視察(来町)
8月5日	(～6日)
8月7日	議会運営委員会管外視察(～9日)
8月7日	(千葉県流山市・茨城県美浦村)
8月20日	総務産業建設常任委員会
8月26日	能登町子ども議会
8月27日	議会運営委員会
8月27日	石川県町村議会議長会
8月27日	議員・監査委員合同研修会
8月28日	(津幡町文化会館)
8月28日	議員全員協議会
9月2日	第5回能登町議会
9月2日	9月定例会議
9月3日	(議案上程)
9月3日	各常任委員会
9月4日	決算特別委員会
9月4日	(～9日まで)
9月11日	第5回能登町議会9月定例会議
9月11日	(一般質問)
9月13日	第5回能登町議会9月定例会議
9月13日	(採決)

石川県町村議会議長会
議員・監査委員合同研修会

能登町子ども議会

総務産業建設委員会

國盛孝昭 (委員長)
吉田義法 (副委員長)
小路政敏 酒元法子
河田信彰 志幸松栄
宮田勝三

懲戒免職の事例はあるか
職員懲戒処分はどのように決定されるのか。
また、懲戒免職の事例はあるか。

懲戒については条例・規則で戒告、減給、停職、免職の4種類が定められている。処分については懲戒処分の委員会で事実勤務成績等を勘案し決定する。懲戒免職の事例はないが、自主退職は数件ある。

新庁舎施設の利用率は
宇出津地区の住民は集会所がわりに、役場施設を借りているが、新庁舎施設の利用率はいくらか。
第1、第2研修室とも午後5時までは330円で5時以降は380円。

新庁舎施設の収容人数は
新庁舎施設の冷暖房を使用した場合の料金はいくらか。
また、収容人数は何人か。

冷暖房を使用した場合はそれぞれの使用料の2割増し。研修室は両室とも40人で、大集会場は観覧席を含めて300人。

松波の旧道は残るのか
松波地区の町道新設にともなう旧道は残すのか
また、地域住民が求めれば売却できるのか。

旧道は、田んぼ脇の赤道として残る。
売却が可能かどうかはお答えできない。

付託された議案のほか
質問・意見がありました。
近年の観光客入込数は
能登半島地震の翌年の

平成20年の宿泊人数は6万2千人だったが、平成28年から3年連続で10万人を超えている。レンタカーや合宿、大会への助成金等、町の施策効果もあると考えている。近年は祭りなどの観光客を含めた全体の人数は80万人弱で推移している。

東京からの飛行機搭乗者補助は
東京から能登空港までの搭乗者に対して補助はあるのか。

能登町内の宿泊施設を利用した場合、2千円の補助がある。

搭乗率補償による運賃の助成は
飛行機運賃も搭乗率補償を利用して安くなるようなことがあるのか。

昨年から搭乗率が上がって搭乗率補償を受けているので、そのようなことがあるのか確認する。

スムーズな除雪体制を図れ
除雪に関する会議はいつ頃の開催予定か。除雪路線を町でしっかり把握しスムーズな除雪がされるよう業者や路線の見直

が必要。また、積雪量だけではなく天気予報を参考に除雪するべきだと考える。

教育厚生委員会

田端雄市 (委員長)
馬場 等 (副委員長)
堂前利昭 金七祐太郎
市濱 等 向峠茂人
鍛冶谷真一

社会福祉総務(登記料)は、3件分。全て能登町負担か。

老人福祉費は、何施設分の管理費か。

登記料については、そのうち藤波デイと七見デイの2施設分の管理費である。

報道では、アスベストに関して軽微なものを除去する方針に変わったと伝えていましたので、しっかり除去するように念押ししておきたい。

指摘内容について業者に指導する。
その他として、8月20日に奥能登広域圏事務組

分かりました。

三波公民館は、防災の関係で今の場所建て替えは無理なのではないかと聞いていたが、状況が変わったという事か。
特定財源のその他は、具体的にどのような財源を使われるか。

地区の要望により現在地になったと聞いている。合併振興基金繰入金、支出財源となっている。

へき地医療拠点病院運営補助金5年間で5千4百万円程は、今回初めてのものか。

用途は、ハードか。

昨年の11月に初めてへき地医療拠点病院として指定を受け、この補助金

合規約の一部改正、能登町上長尾地内の孫三橋の架け替え工事の概要について説明がありました。

が交付される見込みとなった。
用途は、ソフトである。

その補助金でへき地の診療所のないところへ週1回位、車で巡回するなどは出来ないだろうか。
病院が指定を受けたものなので、今回は主に医療用の画像保存通信システム(PACS)の経費を用途とした。

10月からは、幼児教育・保育料無償化となりますが、町が従来第2子以降負担していた金額と今後負担する副食費を比較して、後者が少ないようなら何か他のことに使えるかと思うが。

従来負担していた金額は現在、計算していないが、副食費として必要となる金額は年間800万円位です。

本格稼働まであと2か月

決算特別委員会で新統合庁舎・柳田総合支所・内浦総合支所を現地視察

決算特別委員会に付託された案件は、平成30年度能登町一般会計歳入歳出決算のほか7特別会計決算及び2企業会計決算、併せて10件の認定であった。

これら各会計決算の審査については、去る9月4日から9日までの実質4日間の日程で委員会を開催し、決算書・事項別明細書・各種調書・主要施策の成果説明書・監査委員からの審査意見書などに基づき、関係課等から説明を聴取し、予算執行が適正にかつ効率的に行われたかについて慎重に審査し、全会一致をもって原案のとおり認定することとした。

また最終日には、稼働まで2か月となる新統合庁舎・柳田総合支所・内浦総合支所の現地視察を行った。

なお、審査の過程において、本委員会からのおもな意見、提案は以下のとおりであった。

- 一、多種多様な施策や事業があるが、いま一度、事業の必要性や費用対効果を十分に精査し、特に住民サービスに直結する事業に重きを置き、メリハリのある予算執行に努められたい。また、認知度の低い事業や補助制度が見受けられるため、周知の徹底を図られたい。
- 一、新統合庁舎、柳田総合支所及び内浦総合支所の建設が今年度で完了する。新体制となることにより、特に柳田・内浦地区において、行政サービスが低下することのないよう住民ニーズを十分に把握し、職員の人員についても熟考され適正な配置を希望する。また、職員全体の接遇や資質の向上についても、引き続き努力されたい。
- 一、町税のほか、各種料金・負担金・分担金・使用料等の滞納について、不公平感が生じないように、滞納者の実態に応じた適切な措置を講じ、特に悪質なものについては厳しく対応され一層の収納努力を図られたい。
- 一、近年のゲリラ的な豪雨により、河川の水位が上昇し氾濫することが危惧される。危険箇所については早急に堆積除去をするなど、浸水被害を未然に防ぐ対策を講じられたい。
- 一、町が保有する文化施設や体育施設について、現在は主に指定管理者へ委託しているケースが多いが、ただ単に維持管理にとどまるのではなく、町としての施設の目的達成へ向けて、外部へ積極的に展開できるような、魅力ある運用となるよう検討されたい。
- 一、水道事業について、今年度から水道料金が改定され、町民の負担が増えるが、日常生活を送るうえで欠かすことのできない重要なライフラインである。
今後も老朽管更新などを計画的に進め、安心安全な水道水の提供に努められたい。
- 一、病院事業について、就学資金貸付事業での採用者が、返還債務の免除となる要件を満たした後においても、引き続き勤務を継続し定着するよう、魅力ある病院事業を展開していただきたい。



新統合庁舎



柳田総合支所



内浦総合支所

決算特別委員会委員長 田端 雄市
副委員長 吉田 義法
委員 堂前 利昭
委員 馬場 等
委員 國盛 孝昭
委員 小路 政敏

令和元年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名													
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 眞一
01/07/09	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-
01/07/09	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
01/07/09	7月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
01/07/09	広報編集特別委員会	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○
01/07/22	広報編集特別委員会	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○
01/08/01	議会運営委員会	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	-	欠	-
01/08/07~09	議会運営委員会管外視察	-	-	-	○	○	○	-	○	-	○	-	-	○	-
01/08/20	総務産業建設常任委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	○	-	○	○	-	-
01/08/27	議会運営委員会	-	-	-	○	○	欠	-	○	-	○	-	○	-	-
01/08/28	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
01/09/02	9月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
01/09/03	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
01/09/04	決算特別委員会	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
01/09/05	決算特別委員会	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
01/09/06	決算特別委員会	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
01/09/09	決算特別委員会	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
01/09/11	9月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
01/09/13	9月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

まちかど

インタビュー



満面の笑みと共に美味しいジェラートがお出迎え

今回のまちかどインタビューは、マルガーゼラート能登本店の高森みどりさんです。

(インタビューアール) 酒元 法子

◆この瑞穂の地から始められたきっかけは何ですか？

地元で牧場を営んでおり、能登産の生乳を使ってアイスクリームを作りたいと思ったのがきっかけです。
両親が始めたジェラート店を大切に受け継いでいきたいと思っています。

世界レベルのコンテストでも多数受賞

メディアからも脚光を浴びる

マルガーゼラート



金沢からの女子2人も素敵な笑顔になりました

◆今では『世界のマルガー』になりました。反響は？

兄弟が世界のジェラートコンテストで入賞(優勝)して、一気に知名度が上がって、今では県外からのお客さんも増え皆さんに感謝しております。

◆今後の計画を教えてください。

今後は、もっと地元(能

登)の食材を活かして、より美味しいジェラートを提供していきたいです。また、お客さんがゆっくりくつろげる環境に改善していきたいと思っています。

台風19号で被災された皆さまへの

お見舞いと一日も早い復興を

議員一同心よりお祈りいたします。

次の定例会議は 12月6日開会です。

議会の日程については、決定したい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。

ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、議会事務局へご連絡ください。

編集後記

私が取材させていただいたのは、9月のすがすがしい秋晴れの昼下がり、駐車場には、県外(福井、富山、長野)ナンバーの車を含め、15人ほどの方がジェラートの味を楽しんでいました。若い女性客2人が「とっても美味しい!」と応えてくれました。

お客さんの接待で忙しかったにもかかわらず、取材させていただき感謝いたします。今後のますますのご活躍を祈ります。

【※お店の中には、旦那さんの高森邦彦さんとお父さんの柴野大盾さんがジェラートを作っていました。】

委員 酒元 法子

広報編集

特別委員会

- 委員長 酒元 法子
- 副委員長 堂前 利昭
- 委員 吉田 義法
- 馬場 等
- 河田 信彰
- 鍛冶谷眞一